



やまぼうし

学校教育目標
夢をはぐくみ 生命を輝かせ
確かな実践力をそなえた生徒の育成

大崎市立鳴子中学校
学校だより第2号
2023.5.30



最後の市中総体

5月27日（土）・28日（日）は、3年生にとって最後の中総体でした。25日（木）の壮行式からこの大会に込める思いが選手団の姿からあふれていました。声を出しての応援ができるようになり、応援団の勇ましい姿に感動した壮行式で、選手・応援生徒関係なく互いを応援し、大会での健闘を誓い合っていました。

大会当日は、最後まで諦めずに戦い抜く選手の姿や個人戦で対戦相手と互角に戦う仲間に涙を流しながら声援を送る姿が見られました。

保護者の皆様には、中総体に向けての長い期間、子どもたちを支えていただき本当にありがとうございました。

今回の市中総体をもって、大崎市中体連としての大会は最後となり、今年度新人大会から大崎地区中体連（大崎市・遠田郡・加美郡）となり、新たな歴史が始まります。

鳴子中学校はこの後も、市陸上競技大会、地区駅伝競走大会に向けて、全校体制での取り組みが始まりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

市中総体の結果は次のとおりです。応援ありがとうございました。

〈ソフトテニス男子〉

個人

佐藤・中鉢ペア	3回戦	惜敗
遊佐・岡田ペア	3回戦	惜敗
高橋・松田ペア	1回戦	惜敗
遠藤・鹿野ペア	1回戦	惜敗
鈴木・遊佐ペア	1回戦	惜敗
高橋・吉田ペア	1回戦	惜敗

団体

予選リーグ	
対 古川中	2-1
対 古川東中	1-2
決勝トーナメント	
対 古川南中	2-0

第3位

〈ソフトテニス女子〉

個人

鈴木・戸部ペア	3回戦	惜敗
小山・戸部ペア（オープン参加）	1回戦	勝利

〈剣道〉

団体

曾根・高橋・中村・遠藤・砂金	
予選リーグ	
対 古川東中	1勝3敗1分
対 三本木中	1勝2敗2分

個人

北浦	1回戦	惜敗
高橋	1回戦	惜敗
遠藤	2回戦	惜敗
千葉	1回戦	惜敗
砂金	2回戦	惜敗
中村	負傷棄権	

〈バスケットボール女子〉

第3位

対 古川北中	43-25
決勝トーナメント	
対 古川東中	19-68

〈バスケットボール男子〉

鳴子・松山中	対 古川中
24-75	惜敗

〈バレーボール女子〉

対 田尻中	0-2	惜敗
対 古川黎明中	0-2	惜敗



全校奉仕活動（玉ちゃんの家・湯のまちロード・川渡公民館）

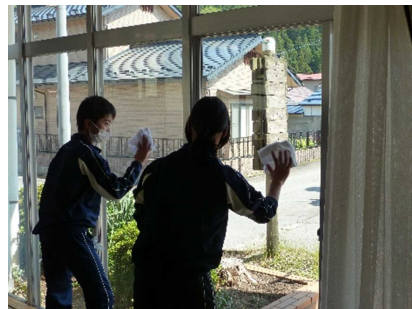
5月9日（火）に全校奉仕活動を行いました。1年生、玉ちゃんの家、2年生、湯のまちロード、3年生、川渡公民館へ出掛け、除草作業や窓ふき、清掃活動を行い、日頃お世話になっている地域の道路や施設への感謝を表しました。



1年生：玉ちゃんの家



2年生：湯のまちロード



3年生：川渡公民館

生徒総会（5月18日）



生徒総会では、生徒一人ひとりが自分事として議論に向き合い、質問や要望に対して活発な意見交換が行われました。よりよい鳴子中学校を上げるためのこれからの取り組みが期待されます。



6月の行事予定

- | | |
|------|-------------------------------------|
| 1 木 | SC 来校
市中総体予備日 |
| 2 金 | 振替休業日（5/28 分） |
| 5 月 | 市中総体報告会⑥
歯科健診
PTA 広報委員会 19:00 |
| 8 木 | 防災・引き渡し訓練⑤ |
| 9 金 | 市陸上競技大会壮行式⑥ |
| 10 土 | 市陸上競技大会
一般生徒 12:45 下校 |
| 12 月 | 振替休業日（6/10 分） |
| 13 火 | 中間考査前部活動中止期間
(~16 金) |
| 14 水 | 専門委員会 |
| 15 木 | 中央委員会
学校評議員会 13:30
SC 来校 |
| 19 月 | 1 学期中間考査
親子ふれあいコンサート⑥ |
| 20 火 | 2 年救命救急学習④⑤⑥ |
| 21 水 | 職員会議 |
| 22 木 | SC 来校 |
| 24 土 | PTA 親子奉仕作業 6:00 |
| 26 月 | 地区駅伝競走大会壮行式⑥ |
| 27 火 | 地区駅伝競走大会
[弁当日] |
| 28 水 | 駅伝競走大会予備日
[弁当日] |
| 30 金 | 防犯教室⑥ |

陸羽東線地元の声聞く
県議会特別委が沿線視察

鉄道の足元
@東北

県議会の地域交通対策調査特別委員会は11、12の両日、赤字経営が続くJR陸羽東線について宮城、山形両県の沿線自治体を視察し、地元住民らと意見交換した。

委員10人は11日、大崎市の古川駅から同線の列車で山形県最上町を訪問。高橋重美町長ら執行部や、町議会と懇談し、路線存続に向けて県境を越えた連携の方向性を確認した。

大崎市鳴子総合支所では、住民との意見交換会を開催。古川学園高、鳴子中の生徒らが発表に立ち、「生徒の足として欠かせない存在」「なくなれば教育を受ける権利が失われる恐れもある」などと訴えた。ラッピング車両、温泉割引券付き乗車券といった利用促進策の提案、地元の取り組みの紹介もあった。

12日は大崎市役所で、市が3月にまとめた活用促進に関する報告書の説明を受けた。

3年生の砂金大輝さん、藤島樹里さん、吉田安那さんが陸羽東線利活用について発表しました。県議の皆さんからたくさんの方の質問を受け、昨年度から総合的な学習の時間で学習してきたことを生かして考えを述べることができました。この様子は河北新報5月12日に掲載されました。鳴中祭でも発表予定です。

受けた。特別委の佐藤一委員長は「県をまたいで地元の意見を聞くことができた。県がどういう役割を果たすべきか、議論に反映させたい」と話した。